



平成25年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月14日

上場取引所 東

上場会社名 あい ホールディングス株式会社
 コード番号 3076 URL <http://www.aiholdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(氏名) 佐々木 秀吉
 (氏名) 唐崎 英明
 配当支払開始予定日

TEL 03-3249-6335
 平成25年3月11日

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年6月期第2四半期の連結業績(平成24年7月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年6月期第2四半期	16,079	15.1	2,326	36.7	2,442	23.8	1,327	17.1
24年6月期第2四半期	13,965	8.7	1,701	29.8	1,973	27.4	1,134	11.7

(注) 包括利益 25年6月期第2四半期 1,695百万円 (60.0%) 24年6月期第2四半期 1,059百万円 (1.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年6月期第2四半期	28.03	—
24年6月期第2四半期	20.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
25年6月期第2四半期	30,263	22,080	73.0	466.17
24年6月期	29,772	20,763	69.7	438.38

(参考) 自己資本 25年6月期第2四半期 22,080百万円 24年6月期 20,763百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年6月期	—	8.00	—	8.00	16.00
25年6月期	—	10.00	—	—	—
25年6月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年6月期の連結業績予想(平成24年7月1日～平成25年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	31,000	10.1	4,200	18.6	4,250	7.1	2,500	3.9	52.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、【添付資料】3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年6月期2Q	56,590,410 株	24年6月期	56,590,410 株
② 期末自己株式数	25年6月期2Q	9,225,321 株	24年6月期	9,224,970 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年6月期2Q	47,365,256 株	24年6月期2Q	54,719,003 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州債務問題による世界的な金融不安や中国及び新興国の経済成長の鈍化等により、先行きの不透明感が強まる状況で推移いたしました。一方、期後半においては政権交代による景気回復への期待感から、円高から円安への移行、株式市場における株価の上昇傾向等、改善の兆しも見えてまいりました。

このような経済環境のもと、当社グループにおいては環境変化に機動的に即応し、効率性や採算性を考慮した社内体制の強化・整備を図り、利益重視の経営を推進いたしました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は160億7千9百万円（前年同四半期比15.1%増）となり、営業利益は23億2千6百万円（前年同四半期比36.7%増）、経常利益は24億4千2百万円（前年同四半期比23.8%増）、四半期純利益は13億2千7百万円（前年同四半期比17.1%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① セキュリティ機器

セキュリティ機器につきましては、マンション向けセキュリティシステム及び法人向けセキュリティシステム共に販売が好調に推移したこと等により、売上高は37億4千2百万円（前年同四半期比30.4%増）、セグメント利益は10億7千2百万円（前年同四半期比158.3%増）となりました。

② カード機器及びその他事務用機器

カード機器及びその他事務用機器につきましては、前年同四半期における金融機関向け大型案件に匹敵する販売が無かったこと等により、売上高は12億8百万円（前年同四半期比20.0%減）、セグメント利益は2億6千2百万円（前年同四半期比24.3%減）となりました。

③ 保守サービス

保守サービスにつきましては、企業の経費削減に伴い保守契約・点検修理が減少したこと等により、売上高は8億6千8百万円（前年同四半期比1.8%減）、セグメント利益は9千万円（前年同四半期比29.9%減）となりました。

④ 情報機器

情報機器につきましては、海外子会社であるSilhouette America, Inc. にて発売した、コンシューマ向け小型カッティングマシンの販売が好調に推移したこと等により、売上高は37億6千万円（前年同四半期比13.4%増）、セグメント利益は3億6千6百万円（前年同四半期比19.2%増）となりました。

⑤ 計測機器及び環境試験装置

計測機器及び環境試験装置につきましては、計測機器の販売は堅調に推移したものの、環境試験装置の販売が企業の設備投資抑制の影響を受けたこと等により、売上高は8億9千1百万円（前年同四半期比8.5%減）、セグメント利益は8千9百万円（前年同四半期比18.4%減）となりました。

⑥ 設計事業

設計事業につきましては、耐震診断等の受注増加により、売上高は21億5千5百万円（前年同四半期比11.2%増）、セグメント利益は3億1千8百万円（前年同四半期比25.4%増）となりました。

⑦ リース及び割賦事業

リース及び割賦事業につきましては、売上高は31億4千4百万円（前年同四半期比42.0%増）、セグメント利益は6千4百万円（前年同四半期比21.5%減）となりました。

⑧ その他

その他につきましては、売上高は3億7百万円（前年同四半期比19.4%増）、セグメント利益は4百万円（前年同四半期比476.3%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して4億9千1百万円増加し、302億6千3百万円となりました。主な要因は、流動資産の現金及び預金8億1千9百万円増加、受取手形及び売掛金2億3千6百万円減少、有価証券9億2千8百万円減少、商品及び製品1億6千万円増加、その他2億1千7百万円増加、投資その他の資産の投資有価証券3億9千7百万円増加等であります。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して8億2千4百万円減少し、81億8千3百万円となりました。主な要因は、流動負債の支払手形及び買掛金2億1千5百万円増加、その他9億2千9百万円減少等であります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比較して13億1千6百万円増加し、220億8千万円となりました。主な要因は、四半期純利益13億2千7百万円の計上、配当金3億7千6百万円の支払、その他有価証券評価差額金2億6千1百万円増加、為替換算調整勘定1億3千8百万円増加等であります。この結果、自己資本比率は73.0%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、98億4百万円となり、前連結会計年度末と比較して10億2千万円増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は8億8千9百万円（前年同四半期は11億2千5百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益21億7千万円、売上債権の減少額2億9千9百万円、有価証券償還損2億6千3百万円、減価償却費1億8千万円等の収入に対し、法人税等の支払額11億2千3百万円、前受金の減少額9億5千2百万円等の支出があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は4億7千5百万円（前年同四半期は6億2千8百万円の使用）となりました。これは主に、有価証券の償還による収入7億2百万円、貸付金の回収による収入4億7千8百万円、有価証券の売却による収入3億円等の収入に対し、貸付による支出7億2千3百万円、投資有価証券の取得による支出2億8千8百万円等の支出があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は4億2千7百万円（前年同四半期は4億7千8百万円の使用）となりました。これは主に、配当金の支払額3億7千6百万円等の支出があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成24年8月17日付の「平成24年6月期 決算短信」にて発表いたしました業績予想に変更はありません。

今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年7月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,012	9,831
受取手形及び売掛金	5,201	4,965
リース投資資産	584	708
有価証券	988	60
商品及び製品	2,614	2,775
仕掛品	75	125
未成工事支出金	251	248
原材料及び貯蔵品	471	453
その他	1,433	1,651
貸倒引当金	△40	△40
流動資産合計	20,594	20,779
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,514	1,472
土地	4,287	4,287
その他（純額）	430	488
有形固定資産合計	6,232	6,247
無形固定資産		
のれん	735	659
その他	131	121
無形固定資産合計	866	780
投資その他の資産		
投資有価証券	1,334	1,732
その他	896	876
貸倒引当金	△152	△153
投資その他の資産合計	2,079	2,455
固定資産合計	9,177	9,483
資産合計	29,772	30,263

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,849	3,064
未払法人税等	844	530
賞与引当金	104	108
製品保証引当金	15	13
受注損失引当金	26	25
その他	2,763	1,834
流動負債合計	6,604	5,577
固定負債		
退職給付引当金	845	884
資産除去債務	7	7
その他	1,549	1,713
固定負債合計	2,403	2,606
負債合計	9,008	8,183
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	9,049	9,049
利益剰余金	12,143	13,092
自己株式	△4,688	△4,688
株主資本合計	21,504	22,453
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△236	25
繰延ヘッジ損益	△0	△32
為替換算調整勘定	△503	△365
その他の包括利益累計額合計	△740	△373
純資産合計	20,763	22,080
負債純資産合計	29,772	30,263

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	13,965	16,079
売上原価	8,788	9,958
売上総利益	5,177	6,121
販売費及び一般管理費		
役員報酬	103	115
給料及び手当	1,170	1,247
賞与	192	226
賞与引当金繰入額	83	83
退職給付費用	97	97
その他	1,827	2,025
販売費及び一般管理費合計	3,475	3,795
営業利益	1,701	2,326
営業外収益		
受取利息	6	10
受取配当金	12	14
持分法による投資利益	—	18
為替差益	6	38
その他	266	61
営業外収益合計	291	143
営業外費用		
支払利息	2	1
デリバティブ評価損	8	13
雑損失	2	9
その他	6	2
営業外費用合計	20	27
経常利益	1,973	2,442
特別利益		
投資有価証券売却益	0	14
その他	0	0
特別利益合計	0	14
特別損失		
固定資産除却損	14	0
投資有価証券売却損	26	1
投資有価証券評価損	93	3
有価証券償還損	—	263
その他	1	17
特別損失合計	135	286
税金等調整前四半期純利益	1,837	2,170
法人税、住民税及び事業税	606	813
法人税等調整額	96	29
法人税等合計	703	843
少数株主損益調整前四半期純利益	1,134	1,327
少数株主利益	—	—
四半期純利益	1,134	1,327

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,134	1,327
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△59	261
繰延ヘッジ損益	2	△32
為替換算調整勘定	△17	138
その他の包括利益合計	△74	367
四半期包括利益	1,059	1,695
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,059	1,695
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,837	2,170
減価償却費	154	180
有価証券償還損益(△は益)	—	263
投資有価証券評価損益(△は益)	93	3
投資有価証券売却損益(△は益)	26	△12
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△4	△2
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	1	4
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△9	△1
受取利息及び受取配当金	△19	△24
支払利息	2	1
売上債権の増減額(△は増加)	△1,350	299
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,071	△120
仕入債務の増減額(△は減少)	△603	131
前受金の増減額(△は減少)	208	△952
その他	△246	55
小計	1,156	1,996
利息及び配当金の受取額	19	18
利息の支払額	△2	△1
法人税等の支払額	△424	△1,123
法人税等の還付額	376	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,125	889
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△200	△10
定期預金の払戻による収入	—	210
有価証券の売却による収入	—	300
有価証券の償還による収入	—	702
有形固定資産の取得による支出	△98	△184
無形固定資産の取得による支出	△4	△4
投資有価証券の取得による支出	△0	△288
投資有価証券の売却による収入	112	34
貸付けによる支出	△626	△723
貸付金の回収による収入	181	478
その他	7	△37
投資活動によるキャッシュ・フロー	△628	475
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△437	△376
その他	△41	△50
財務活動によるキャッシュ・フロー	△478	△427
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12	81
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5	1,020
現金及び現金同等物の期首残高	9,874	8,784
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,879	9,804

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年7月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント								その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セキュリ ティ機器	カード機 器及びそ の他事務 用機器	保守 サービス	情報機器	計測機器 及び環境 試験装置	設計事業	リース 及び 割賦事業	計			
売上高											
外部顧客へ の売上高	2,869	1,510	884	3,315	975	1,938	2,214	13,708	256	—	13,965
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	—	—	30	19	—	—	12	62	0	△63	—
計	2,869	1,510	915	3,334	975	1,938	2,226	13,771	257	△63	13,965
セグメント 利益	415	346	128	307	110	253	81	1,644	0	56	1,701

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、カードリーダーの製造・販売及びソフトウェアの開発・販売等を行っております。

2. セグメント利益の調整額56百万円には、セグメント間取引消去31百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益25百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれんの発生益の認識はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成24年7月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント								その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セキュリ ティ機器	カード機 器及びそ の他事務 用機器	保守 サービス	情報機器	計測機器 及び環境 試験装置	設計事業	リース 及び 割賦事業	計			
売上高											
外部顧客へ の売上高	3,742	1,208	868	3,760	891	2,155	3,144	15,772	307	0	16,079
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	—	1	24	12	4	—	14	58	0	△58	—
計	3,742	1,210	893	3,773	896	2,155	3,159	15,830	307	△58	16,079
セグメント 利益	1,072	262	90	366	89	318	64	2,264	4	56	2,326

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、カードリーダーの製造・販売及びソフトウェアの開発・販売等を行っております。

2. セグメント利益の調整額56百万円には、セグメント間取引消去33百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益23百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれんの発生益の認識はありません。